特集にあたって

岡太　彬訓（立教大学）

マーケティング・エンジニアリング研究部会では，共通のデータを基に分析の内容を競うデータ解析コンペティションを毎年実施している．7回目となる平成12年度のコンペティションは，昨年度に引き続き「金融マーケティング」をテーマとして参加チームを募った．また，データについては以下のものを提供した．

(1) 金融機関の顧客に対するアンケート・データ
　実施時期：1999年8月
　サンプル数：約3,100人
　質問項目：取引金融機関，保有する金融商品，金融商品知識，金融商品に対する考え方，など計27問

(2) アンケート回答者の銀行取引データ（サマリ）
　取得期間：主に1999年4月～2000年3月
　サンプル：アンケートと同一人物
　データ項目：回答者属性，月末残高，平均残高（6ヶ月平均），口座引落（6ヶ月平均），給与等振込（6ヶ月平均），ATM等利用チャネル別の普通預金入出金（月次），など合計8項目

これらのデータが実ビジネスの新鮮なデータということもあり，社会人3チーム，大学13チームの計16チームと，例年に比べて多くのチームがコンペティションに集った．

部会の最終報告では各チームによりバラエティに富んだ分析が報告されたが，コンペティションという性質上，優劣をつける必要がある．そこで，最終報告では以下の方々に審査員をお願いした．

【部会最終報告の審査員】
・田口東教授（中央大学）
・逆瀬川浩孝教授（早稲田大学）
・朝野熙彦教授（東京都立大学）

その結果，殊勲賞は該当者なし，技能賞は大阪府立大経営科学チーム，敢闘賞はドムドム・チーム（北九州市立大学）であった．

当部会では，平成11年度からは最終報告終了後，優秀なチームを選出して，改めて成果報告会を行っている．今年度の成果報告会は，あさひ銀行金融基礎研究所，NTTデータシステム科学研究所と共同で開催し，また，審査については昨年度に引き続き以下の方々にお願いした．

【成果報告会の審査員】
・田口東教授
・石井進所長（あさひ銀行金融基礎研究所所長）
・村上陽一郎教授（国際基督教大学，当時NTTデータシステム科学研究所所長）

平成13年度は「小売業におけるCRM」をテーマにスーパー・マーケットのポイント・カード・データを用いてコンペティションを行っている．今年度はOR学会マーケティング・エンジニアリング研究部会だけでなく，日本マーケティング・サイエンス学会，立教大学CRM研究会にもおいても参加チームを募り，現在23チームが競っている．本年度も例年どおり，最終報告が実施され，成果報告会を予定しているので，ご興味のある方は是非とも参加されたい．

【謝辞】部会最終報告および成果報告会の審査員の諸先生方には，お忙しい中，審査にご協力頂きました．この場をお借りして深く御礼申し上げる次第です．

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．